



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月1日

上場取引所 東 大

上場会社名 内海造船株式会社

コード番号 7018 URL <http://www.naikaizosen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森 弘行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 村上 修一

TEL 0845-27-2111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	25,374	22.9	3,946	100.9	3,883	101.6	1,613	60.1
23年3月期第2四半期	20,639	△7.5	1,964	155.8	1,925	169.3	1,007	175.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,607百万円 (64.3%) 23年3月期第2四半期 978百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	95.11	—
23年3月期第2四半期	59.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	39,464	9,119	23.1	537.70
23年3月期	36,184	7,766	21.5	457.91

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 9,119百万円 23年3月期 7,766百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	15.00	15.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、定款において期末日を基準日として定めておりますので、四半期における配当は実施しておりません。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,600	6.2	4,900	0.4	4,800	1.0	2,100	3.2	123.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	22,530,000 株	23年3月期	22,530,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	5,569,816 株	23年3月期	5,569,816 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	16,960,184 株	23年3月期2Q	16,961,170 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表(四半期報告書)に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災以降、供給網の復旧や復興需要等により足下では回復傾向にありましたが、長期化する欧州諸国の金融不安や欧米経済を中心とした世界経済の減速懸念は払拭されず、先行き不透明な状況が続いております。

造船業界におきましては、歴史的な円高水準の進行や世界経済の減速懸念を受け企業マインドは悪化し、海上荷動きの停滞、新造船受注の低迷と厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高253億74百万円（前年同四半期比22.9%増）となりました。

損益は、新造船工事の収益改善により、営業利益39億46百万円（前年同四半期比100.9%増）、経常利益38億83百万円（前年同四半期比101.6%増）となりましたが、修繕船事業の集約に伴う費用を特別損失（9億41百万円）に計上したことにより四半期純利益は16億13百万円（前年同四半期比60.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①船舶事業

新造船工事については、世界的な船舶過剰供給や低船価受注に加え歴史的な円高水準が追い打ちをかけ、価格競争面において厳しい環境におかれ予断を許さない状況が続きました。

改修船工事につきましても、長引く景気の低迷により工事費用が抑制される中、中国や国内造船所との価格競争激化により受注・採算面共に厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高251億48百万円、セグメント利益47億61百万円となりました。

また受注については、貨物船、内航船等受注し、この結果、受注残高は409億10百万円となりました。

②その他

(陸上事業)

製造業を中心に民間設備投資は持ち直しの動きが見られ、公共設備投資についても下げ止まりつつあるものの、国内景気の先行き不安は残り引き続き予断を許さない状況が続きました。このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1億14百万円、セグメント損失0百万円となりました。

また、受注高につきましては、1億33百万円となりました。この結果、受注残高は26百万円となりました。

(サービス事業)

個人消費は、東日本大震災以降の落ち込みから回復しておりますが、景気への不透明感や雇用情勢の低迷等により、依然として厳しい状況が続きました。このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1億11百万円、セグメント損失6百万円となりました。

また、受注高につきましては、1億11百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増減
総資産	36,184	39,464	3,280
負債	28,417	30,345	1,927
純資産	7,766	9,119	1,353

総資産は、前連結会計年度末に比べ32億80百万円増加いたしました。

これは主に、現金及び預金が42億82百万円増加したものの、有形固定資産が11億45百万円減少したことであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ19億27百万円増加いたしました。

これは主に、新造船工事の前受金が14億13百万円減少したものの、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が15億6百万円、未払法人税等が10億81百万円増加したことあります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ13億53百万円増加いたしました。

これは主に、利益剰余金が15億59百万円増加したことあります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は、平成23年5月11日の公表数値どおり推移しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

当社グループにおける、原材料及び貯蔵品の評価方法は、従来、個別法及び総平均法によっておりましたが、新しい基幹システムを導入したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、総平均法から移動平均法に変更しました。

当会計方針の変更に伴い遡及適用した場合に、過年度の財務諸表に与える影響が軽微と考えられるため、遡及適用を行わず、期首から移動平均法を適用しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,829	9,112
受取手形及び売掛金	14,235	14,304
商品	0	2
仕掛品	331	360
原材料及び貯蔵品	114	127
その他	2,156	2,224
貸倒引当金	△6	△10
流動資産合計	21,662	26,120
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,073	2,837
構築物（純額）	1,621	1,315
機械装置及び運搬具（純額）	2,329	1,974
土地	4,709	4,368
その他（純額）	754	847
有形固定資産合計	12,488	11,342
無形固定資産		
その他	212	205
無形固定資産合計	212	205
投資その他の資産		
投資有価証券	819	809
その他	1,066	1,051
貸倒引当金	△64	△64
投資その他の資産合計	1,821	1,795
固定資産合計	14,522	13,343
資産合計	36,184	39,464
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,551	9,358
短期借入金	2,972	3,420
未払費用	1,323	1,198
未払法人税等	880	1,962
前受金	4,161	2,748
工事損失引当金	—	1,419
その他	1,110	990
流動負債合計	19,999	21,097
固定負債		
長期借入金	5,384	6,442
再評価に係る繰延税金負債	1,179	1,046
退職給付引当金	1,741	1,648
資産除去債務	61	62
その他	51	47
固定負債合計	8,418	9,247
負債合計	28,417	30,345

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,200	1,200
資本剰余金	672	672
利益剰余金	6,368	7,928
自己株式	△2,015	△2,015
株主資本合計	6,225	7,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	△1
土地再評価差額金	1,536	1,335
その他の包括利益累計額合計	1,540	1,333
純資産合計	7,766	9,119
負債純資産合計	36,184	39,464

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	20,639	25,374
売上原価	17,343	20,292
売上総利益	3,295	5,081
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	321	296
その他	1,009	838
販売費及び一般管理費合計	1,331	1,134
営業利益	1,964	3,946
営業外収益		
受取配当金	6	8
再生債権弁済金	3	—
その他	5	5
営業外収益合計	15	14
営業外費用		
支払利息	50	56
その他	4	20
営業外費用合計	54	77
経常利益	1,925	3,883
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18	—
固定資産除却損	188	456
減損損失	—	506
特別損失合計	207	962
税金等調整前四半期純利益	1,718	2,920
法人税、住民税及び事業税	844	1,999
法人税等調整額	△132	△692
法人税等合計	711	1,307
少数株主損益調整前四半期純利益	1,007	1,613
四半期純利益	1,007	1,613

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,007	1,613
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△28	△5
その他の包括利益合計	△28	△5
四半期包括利益	978	1,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	978	1,607
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

平成23年11月1日

内海造船株式会社

(コード番号7018)

## 平成24年3月期 第2四半期 決算の概要

### 1. 当第2四半期の業績について

当第2四半期は下表のとおり、前第2四半期に比べて、個別、連結とも増収増益の決算となった。

(百万円未満切捨て)

区 分		当第2四半期 (A)	前第2四半期 (B)	比 較 (A-B)
売 上 高	個 別			
	新 造 船	(12隻) 22,941	(9隻) 17,560	(3隻) 5,381
	改 修 船	(57隻) 2,034	(52隻) 2,610	(5隻) △ 576
	そ の 他	149	167	△ 18
	計	25,125	20,338	4,787
	連 結	25,374	20,639	4,734

(注) 増収の要因は、新造船工事の売上対象船が前第2四半期に比べて3隻(9隻→12隻)増加となった。

区 分		当第2四半期 (A)	前第2四半期 (B)	比 較 (A-B)
損	営 業 利 益			
	個 別	3,932	1,962	1,969
	連 結	3,946	1,964	1,982
益	経 常 利 益			
	個 別	3,869	1,923	1,945
	連 結	3,883	1,925	1,957
	四半期純利益			
	個 別	1,609	1,007	602
	連 結	1,613	1,007	605

(注) 増益の要因は、新造船工事の収益改善により、営業利益は39億46百万円、経常利益は38億83百万円となった。

また、修繕船事業の集約に伴う費用を特別損失に計上したことにより、四半期純利益は16億13百万円となった。

### 2. 新造船の受注状況について

世界的な船舶過剰供給や低船価受注に加え歴史的な円高水準が追い打ちをかけ、価格競争面において厳しい環境におかれ予断を許さない状況が続く中、当第2四半期は貨物船、内航船などを受注した。

この結果、受注残高は貨物船、内航船など16隻で407億37百万円となった。

### 3. 株主配当について

平成24年3月期は、前期に続き1株当たり15円の期末配当を継続する予定である。

### 4. 平成24年3月期の業績予想について

下表のとおり、平成23年5月11日の公表数値どおり推移している。

(単位:百万円)

区 分	通期(予想)	
	個 別	連 結
売 上 高	45,000	45,600
営 業 利 益	4,900	4,900
経 常 利 益	4,800	4,800
当 期 純 利 益	2,100	2,100